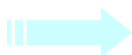
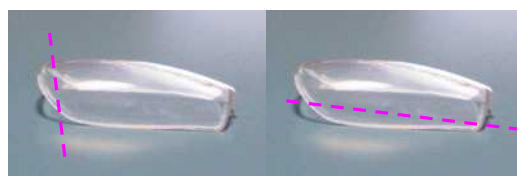
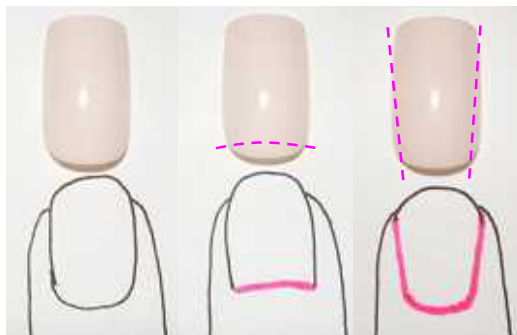
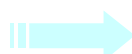
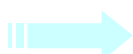
ネイルチップ取扱説明書

ネイルチップのお店　nail bless

お手元に届いたら・・・

自爪のラインは人によって様々です。
イラスト(左)のような方はそのままでも使用できますが、
(中)・(右）のような方は、チップを点線のように、ファイル(ネイル用やすり)で
削って、ご自身の爪ラインと合わせます。

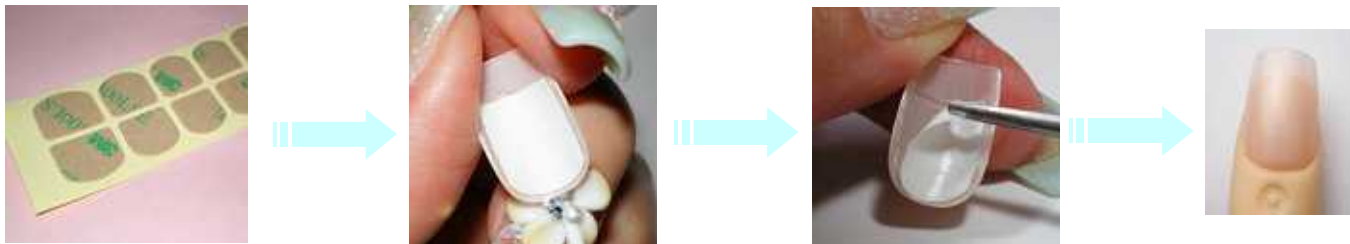
※この作業をするかしないかで、ナチュラルさに断然差が出ます。
（自爪は短くした方がベターです。）
※繊細な商品ですので、扱いはくれぐれも慎重に・・・！！！
※ダスト(削りカス)がチップに残らないように丁寧に掃いましょう。
※(右）のような方で、自爪の扇型特徴が強い場合は、削りすぎず
“ 間を取る ” 位の方がキレイに見えます。
※爪先側はファイリングしないようにしましょう。
※お客様それぞれラインが違うので、当店での処理はしておりませんが、
アートの位置に考慮が必要な場合は事前におっしゃってください。
※根元ラインをファイリングをすると、縦カーブの緩いチップになります。
短くもなります。
※横のラインをファイリングをすると、横カーブの緩いチップになります。
幅も狭くなります。
※ジェルコートチップは、この際にジェル膜にヒビが入る事があるので、
表面をしならせたり強くファイリングしたりしないよう、特に優しく扱いましょう。

ワンタッチネイルの場合

チップを両面テープなどで固定し、裏の接着部分（自爪に触れる部分）に直接ワンタッチネイル粘着剤を塗ります。
白い液体が透明になるまで、自然乾燥かドライヤーで完全に乾かしてください。

※ドライヤーですと、チップが飛んでいってしまったり、持っている手が熱かったりするので、自然乾燥がオススメです。
※台紙などに固定しそのまま何か箱に入れて自然乾燥するとホコリなどが付きにくいのでいいかと思います。
※チップと自爪の間に隙間が出来る方は、何度か繰り返して、隙間が埋まるくらい厚みをつけると良いです。
※必ず完全に透明になるまで装着を待ちましょう。粘着剤の厚みにもよりますが乾燥には意外と時間がかかります。
※粘着剤の厚みにもよりますが乾燥には意外と時間がかかります。自然乾燥の場合2日前位から準備しましょう。
※乾燥途中で接着面には触れないようにして下さい。
※ご購入の方は、ワンタッチネイル粘着剤に付属の説明書も、あわせてお読みください。

チップのつけ方

手・爪を清潔にしましょう。爪の表面に油分・水分が少ない方が接着強度が高まります。
消毒液（エタノール水溶液・除菌ウェットティッシュでもOK）で拭くと良いです。

両面テープの場合

チップの裏に大きさの合う両面テープを貼り、シートをはがして(あればピンセットを使うとやりやすくなります。)、
接着面には触れないようにしながら、自爪にギュッと空気を抜くように押し付けます。

※チップの端がシールの上に乗ってしまうと浮いたカンジになってしまうので、チップよりひとまわり小さいシールを貼りましょう。
(テープはハサミで切ってもOKです)
※チップと自爪の間に隙間が出来る方は、テープを2重にしてもOKです。

ワンタッチネイルの場合

粘着剤が完全に透明になったら、空気が入らないように自爪にギュッと貼り付けます。
※装着途中で接着面には触れないようにしましょう。

※基本的に装着中に水に濡れると取れやすくなりますが、数時間立つ間にしっかりしてきます。
装着直後は圧力や水分に特に気をつけてください。

チップのはずし方

両面テープの場合

外す時は、無理にはがさずに、お湯に少し浸してからゆっくり外しましょう。

ワンタッチネイルの場合

外す時は、無理にはがさずに、お湯に少し浸してから、ゆっくり少し上に持ち上げた後、手前にスライドさせるようにはずしましょう。
※スライドさせてはずすと、接着面が乱れず、繰り返しワンタッチネイルとして使用できます。
※粘着力が弱まったら、ぬるま湯で軽く洗い流し、しっかり乾燥させてください。状態にもよりますが2 ･3回繰り返してご使用になれます。
※粘着力がなくなった場合は「復活剤」を使用することで粘着力が数回は復活します。

チップの保管

数回使用ごとにトップコートを塗ると長持ちにつながります（ジェルコート使用時は不要）。その際、気泡ができないように注意しましょう。
紫外線の影響で黄変します。ご使用時以外は、必ず、陽のあたらない暗い場所に保管してくださいね。

ネイルチップのお店　nail bless
PCサイト:http://ykblesstkaim.ocnk.net/
携帯サイト:http://ykblesstkaim.ocnk.net/mobile/